

秋葉区社協だより

支えあい、ともに笑顔でくらすまち



Vol.52

2026.3.22 発行



地区活動紹介

地域と介護事業所がつなぐ

笑顔が広がる山の手の集いの拠点

「いこてば、こいてば、ふれあい会館」

(山の手地区)



介護事業所「ふれあいの社」による送迎支援



「いこてば、こいてば、ふれあい会館」活動の様子

主な内容

- 山の手地区の活動紹介
- ひきこもりの取り組みについて
- 歳末見守り事業の報告
- 秋葉区社会福祉法人等ネットワーク研修会の報告
- 子どもの居場所団体情報交換会の報告
- ボランティア情報
- 賛助会員会費
- ふれあい福祉サービスについて
- 心配ごと相談所のご案内
- 寄付者一覧 (令和7年11月1日～令和8年2月28日)
- 令和7年度 秋葉区赤い羽根共同募金実績報告

山の手地区では、地域の皆さんが気軽に集い交流できる「地域の茶の間」を3カ所で開催しています。その一つ、コミュニティ協議会主催の「いこてば、こいてば、ふれあい会館」は毎月第2木曜日に開かれ、長年にわたり地域の集いの場として親しまれています。

今年度からは、会館までの移動手段に困っていた方を対象に、介護事業所「ふれあいの社」の協力による送迎支援が始まりました。「安心して参加できるようになった」「みんなに会えてうれしい」といった声が寄せられ、利用する方も徐々に増えています。

地域と介護事業所が力を合わせたこの取り組みは、誰もが無理なく参加できる地域づくりにつながっています。今後も多様な団体と連携しながら、山の手地区のつながりをさらに深めています。

山の手地区社会福祉協議会 会長 五十嵐 登

全国の15～64歳の方のうち、ひきこもり状態にある人が146万人という統計が出ています（2022年内閣府調査）。50人に1人がひきこもっている状態で、秋葉区の14～64歳人口で推計すると約820人のひきこもり状態にある方が私たちの身近に暮らしておられることになりました。秋葉区社協では、ひきこもりについて正しく理解しあたたかく見守る人を増やすため、また現在ひきこもりに悩んでいる人やその家族を支えるための取り組みを行っています。このたび、そのご家族の中から若者支援の活動をボランティアで行おうとされている永橋裕美さんに、お話を聞きました。

「ひきこもりの活動をやってみよう」と思われたきっかけは？

息子やいつかまた仲間や、母で
ある自分自身を責めてきたことが
方々たく…本当に皆さんの方から
方々をいただきました。今度は自

●若者支援の活動をやってみよう
とされたきっかけは？

息子やいつかまた仲間や、母で
ある自分自身を責めてきたことが
方々たく…本当に皆さんの方から
方々をいただきました。今度は自

相談支援センター（以下、ひきこも
りに1～2回面談の様子）に
月に1～2回面談の様子に
に1～2回面談の様子に
に1～2回面談の様子に



●永橋さんご自身の経験をお聞
かせただけですか？

十年ほど前一人息子が高校生
の時に不登校がひきこもりにな
りました。高校は進学、三年間ほ
と家にいました。今は大学を出て
社会に出ていますが、

不登校・ひきこもり親の会 いろいろ秋葉	
日 時	3月28日（土）13時30分～
会 場	新津地域交流センター3階301
第1部	立ち上げ説明会
第2部	ひきこもり親の会ひまわり代表三善美代子氏を囲む懇談会
参加費	200円（会場費と保険料としていただきます）
定 員	45名
対 象	不登校やひきこもり状態にある方のご家族、当事者、経験者、支援機関の方
お問合せ	pet19990101@gmail.com ※事前申し込みの必要はありません。

分も誰かの役に立ちたいという思
いで、若者支援センター「オーレ」
のユースアドバイザーに志願しま
した。実際に若者と関わってい
ると、学ぶことが多かったです。
人は自分を温かく受け入れてく
れる場所があれば自然と気持ちよ
くなっていく。そしてまた笑顔に
なることができるのだと。そんな
経験をも、多くの人と一緒にいた
いと思っただけです。

●これからの活動についてお聞か
せください。

私と同じように正しい思いをし
ているひきこもりの方の親御さん
の会と、息子のような若い人達が
笑顔になれる場所をつくってい
たいと思っています。三月二十八
日（土）午後から、「いろいろ秋葉
」という名前で不登校・ひきこも
りの会を開催します。ぜひ遊
びに来てください。若者支援の方
は「リラスアキはき」という名前
で五月にスタートする予定です。

【秋葉区社協のひきこもりの支援事業】 ※詳しい活動報告はホームページもご覧ください！

- ひきこもりに関する講座（10月）
ひきこもりについて正しく理解し、温かく見守る人が増えてほしい…そんな思いで、長岡崇徳大学の斎藤まさ子先生を講師にお招きし、開催しています。今年の講座では、昨年1月に発表された「ひきこもり支援ハンドブック」の内容から「自律」についてのお話や、家族支援の大切さ、ご本人の強みを見る支援が必要であるといったお話がありました。来年度も開催します！
- 家族懇談会（6月、10月、2月）
ひきこもりの方のご家族が集まり、日頃の迷いや悩みなどを話し合ったり、家族としての楽しみなどを報告し合ったりしています。和やかに温かい雰囲気は参加した皆さんの力になっています。
- ひきこもり支援連絡会（6月、2月）
ひきこもりの方の支援に関わる関係機関が集まり、より良い支援につながるための話し合いを行っています。専門職が互いに一歩踏み出してつながり関係づくりを目指します。



10月の家族懇談会の様子

「年の瀬に寄り添う支え合い 地域での見守り活動へ」
歳末見守り事業を実施しました

日頃、民生委員による友愛訪問活動の対象となっている方々に対し、地域の交流から温かい気持ちで新年を迎えていただけるよう、地域コミュニティ協議会・地区社会福祉協議会等の地域の方々や民生委員の皆さんの協力により、歳末見守り訪問を行いました。今年度は、コミュニティ協議会や地区社会福祉協議会としての取り組みもめきめくと、秋葉区全体では124の自治会・町内会の皆様よりご協力をいただくことができました。様々な形で子どもたちの協力により実施した地域もあり、多くの方が関わった歳末時の温かい取り組みとなりました。

阿賀浦地区東町町内会

阿賀浦地区東町町内会

阿賀浦地区東町町内会

阿賀浦地区東町町内会

阿賀浦地区東町町内会

阿賀浦地区東町町内会

阿賀浦地区東町町内会

阿賀浦地区東町町内会

各訪問先でたくさんの
笑顔が見られました。
このつながりが日頃の顔の見える関係、
災害時に助け合う関係にも
つながります。

令和7年度 秋葉区社会福祉法人等 ネットワーク研修会を開催しました！

令和8年1月23日(金)、新津地域交流センターにて秋葉区社会福祉法人等ネットワーク研修会を開催しました。地域課題に向き合う公益的な取り組みをテーマに、3つの実践報告と意見交換が行われました。実践報告では、孤立・孤独や認知症の増加など地域が抱える課題に対し、社会福祉法人が専門性を生かし、地域とともに支え合う仕組みをつくる重要性が共有されました。意見交換では、地区ごとのグループに分かれ、活発な意見が交わられました。防災を通じた町内会との連携、商店・学校とのつながり、他法人との協働など、報告に共通していたのは「地域に開かれた姿勢」と「日頃からの関係性」です。普段からの顔の見える関係づくりが地域の安心につながることを示されました。今後とも地域と社会福祉法人をつなぐ役割を担い、公益的な取り組みを推進していきます。



報告 子ども居場所団体情報交流会

2月20日(金)新津健康センターで子どもの居場所団体情報交流会を行いました。



小池先生と
子どもの居場所活動団体代表者(11団体)

講師に新潟県立大学の小池由佳先生をお迎えし、いま子どもの居場所に求められることの講演をいただきました。子どもの権利について詳しくお話いただき、今後の子どもの居場所づくりの参考となりました。その後のグループでの情報交換の時間では、各団体の内容や工夫について情報共有し、有意義な時間となり、小池先生からも「インフラを支える場ではないため、楽しめる範囲でやっていけるとよい」とアドバイスいただきました。

※子どもの居場所づくりを取り組む団体に助成します。(サークル活動は対象外)
詳細は秋葉区社会福祉協議会にお問い合わせください。

ボランティア情報

秋葉区ボランティア・市民活動センター

親子講座
サイエンス★ラボ



令和7年度ボランティア・市民活動センターでは各種講座を開催しました。

障がいの理解の講座
(精神・知的)



施設ボランティア
受け入れ担当者研修会



ボランティア活動保険受付開始

ボランティア活動を安心・安全に行っていただくための令和8年度ボランティア活動保険の受付を開始しました。令和8年4月1日より補償を希望される方は、令和8年3月31日までにお手続きをお願いします。併せてR8年度ボランティア登録も受け付け中です。

年間保険料	基本プラン	350円
	天災・地震補償プラン	500円
	※お約りのいらぬようにご用意をお願いします	

にいがたし元気力アップサポーター制度 令和7年度ポイント申請が始まります。(4月・5月)

にいがたし元気力アップサポーターの皆さんが令和7年度に活動で貯めたポイントの申請が始まります。3月末に申請書をお送りしますので忘れずに申請してください。また、新潟市在住で65歳以上の方が施設等でもサポーター活動をするるとポイントがたまり、年間最大5,000円交付される「にいがたし元気力アップサポーター制度」に興味のある方は、秋葉区ボランティア・市民活動センターにご相談ください。



総合学習 福祉教育 手話の学び

小学校の福祉教育では、アイマスク体験や車いす体験、高齢者疑似体験等様々な福祉体験を行います。中でも手話を学ぶ体験では、手話ボランティア団体の皆さんから協力していただいています。学習後子ども達が手話を使って聴覚障がいの方に挨拶と自己紹介を会話をします。緊張していますが、伝わった時の笑顔いっぱいこの瞬間がとても良い時間となっています。

手話サークル みずわ



小学校で当事者の立場でお話をする機会がありました。手話の指導も行いました。どの学校の子どもたちも、手話に興味をもつて一生懸命学んでくれて、とても良かったです。終わってからお礼のお手紙ももらいました。読んでみると中には「手話を使っている人に初めて会いました。もっと手話を勉強したい」など嬉しいことが書いてありました。本当にありがとうございました。手話サークルみずわ 柳田正孝 様(聴覚障がい者)

手話サークルみずわは、結小、小池小学校、第三小学校の4年生の生徒さんに手話の指導をさせて頂きました。どの学校でも良い生徒さんたちに出会えて本当に嬉しかったです。びっくりする位、手話の覚えが早く熱心な生徒さん達ばかりでした。嬉しいお礼お手紙も私たちの励みになりました。

手話サークルみずわ 代表 吉川なお子 様

手話サークル 竹の子



聴覚障がい者は声が聞こえず、発音習得が難しいため、話すことに不安があります。発音が苦手でも手話なら自信を持って思いを伝えられます。手話を大切な「みえることば」と理解して頂いて嬉しいです。手話サークル竹の子 本多哲哉 様(聴覚障がい者)

自分の名前や挨拶が表現出来た時の笑顔がとても印象的でした。聴覚障がい者との会話では、途中忘れても一生懸命思い出して発表出来る姿に伝えたい気持ち、歌えることの大切さを学んでくれたと嬉しく思いました。

手話サークル竹の子 代表 阿部久美子 様



手話を体験した子ども達の感想(4年生) ※体験直後のふりがえりシートより抜粋

- ♥耳が聞こえない人は、いろんな苦労があると知りました。だけと手話を通して耳が聞こえない人でも会話できるようになるので、手話は便利だと思いました。授業で手話について知れたのでこれからもうまくなりたいと思います。
- ♥これから手話を広げたりして手話を大切にしていきたいです。お母さんなどに教えてあげたいです。
- ♥手話は表情や手を使って会話がすることが大切だと知りました。

- ♥これから、耳が聞こえない人も手話で楽しく会話したいと思いました。
- ♥聴覚障がい者がみんなと同じく暮らせる社会をつくりたい。それにはその人が頑張るのではなく私達がどうにかしなければなりませんと改めて感じました。
- ♥手話で耳が聞こえない人もお喋りが出来ることが分かりました。



賛助会員にご加入いただき、ありがとうございました

企業・団体・個人の皆さまから賛助会員にご加入いただきました。(令和8年3月現在) 敬称略・順不同

企業

新興タクシー株式会社 秋葉建設興業株式会社 株式会社イシカワ 株式会社新津自動車学校 株式会社新潟日報サポート 小出耳原印刷所 新津商工会議所 有限会社カーネットワークワーク 有限会社玉屋印刷所	大宗建設工業株式会社 大和開発興業株式会社 株式会社新潟エコテック 株式会社川名花店 株式会社八重電業社 新潟薬科大学 新潟メディカルプラン 有限会社新津清掃社	阿部自動車興業株式会社 越後天然ガス株式会社 株式会社小川組 株式会社プロビデンス 株式会社彬形屋 新潟かがやき農業協同組合新津支店 有限会社石澤製作所 有限会社クアサプライドリーむ	日活電子株式会社 株式会社ダイナム 株式会社坂城工業 株式会社越配 株式会社雄偉文具 新潟県労働金庫新津支店 有限会社五十嵐工業所 有限会社新津ビル管理
---	---	--	---

団体

飯柳長生会 古田親盛会 川口哲和会 六郷顯会 新潟中蒲地区保護司会秋葉支部 保護司の皆様	草水町千歳会 秋葉寿楽会 猿島苑友会 友益共社会 保護司の皆様	南町鶴寿会 田家2丁目老社会 こがね交友会 市新苑友会 医療法人社団健進会 [田家地区健康を守る会]	新栄町緑町驚鳴会 美幸町長寿会 車場老人会 秋葉区老人クラブ連合会	海願寺寿会 中新田清老会 小口和楽会 新潟市秋葉区更生保護女性会
--	---	--	--	---

個人

田中 義夫 田中 ユリ 西山 富夫 西山 尚子

ふれあい福祉サービス

～「困ったときは、お互いさま」そんな気持ちからつくられました～

ふれあい福祉サービスは、住民同士の助けあい活動です。

- 利用できる 秋葉区にお住まいで、おおむね65歳以上の方 障がい児・者、お手伝いが必要な方
- 活動内容 調理及び食事の準備、買い物、掃除、洗濯、ゴミ出し 等
- 利用日時 平日の午前9時～午後5時(ゴミ出しは、8時半までに実施)
土日祝日および12月29日～1月3日はお休み
- 利用料 1時間につき500円(ゴミ出しは30分250円) 生活保護世帯は半額です

活動いただける協力会員を募集しています!

資格等はありません。サービスにご理解をもって活動くださる方はどなたでも登録できます。短時間での活動も可能です。わからないことが多い回りの活動は職員が同行します。毎月20日に説明会を開催していますので、お気軽にお問い合わせください。
予約は不要です。 秋葉区社会福祉協議会 TEL 0250-24-8376



秋葉区心配ごと相談所

(来所相談・電話相談)

- ・日時：毎週月・金曜日
午前10時～午後3時
※祝日の場合は休み
- ・場所：新津地域交流センター
2階 相談室
- ・TEL：0250-24-8376

相談無料
予約不要

どこに相談すればいい? 誰に相談すればいい?
不安や悩みごとは心配ごと相談所へご相談ください。
相談員が親身に相談に応じます。

ひとりで悩まず お気軽にご相談ください

あたたかいご寄付をありがとうございました

秋葉区内の福祉事業・活動に活用させていただきます。(令和7年11月1日～令和8年2月28日)

寄付者氏名 (敬称略)	寄付金額・物品	寄付先
金津コミュニティ振興協議会	11,470円	秋葉区社協
加茂信用金庫 理事長 杉原 久	100,000円	秋葉区内子ども食堂
匿名	お米 18Kg	秋葉区内子ども食堂
程島内会 会長 近藤美津雄	2,428円	秋葉区社協
長谷部 昇	1,375円	秋葉区社協
匿名	お米 10Kg	秋葉区内子ども食堂
東北電力ネットワーク(株) 新津電力センター	非常食	秋葉区社協
新潟県労働金庫	50,000円	秋葉区社協
新津建築組合	26,016円	秋葉区社協
秋葉区市民団体会大実行委員会	392円	秋葉区社協



金津コミュニティ振興協議会様 (写真左)



加茂信用金庫様 (写真左)



東北電力ネットワーク(株) 新津電力センター様 (写真右)



新潟県労働金庫様 (写真左)

令和7年度

赤い羽根共同募金実績

令和7年度も赤い羽根共同募金にご協力いただき、誠にありがとうございました。
秋葉区内における募金実績額をご報告いたします。

実績合計 9,854,594円

- ・赤い羽根共同募金 6,526,201円
- ・歳末たすけあい募金 3,328,393円

お寄せいただいた募金は、秋葉区内の地域福祉活動をはじめ、県内の民間福祉施設等への助成や災害支援に活用されます。

運動期間中、お力添えいただきました自治会町内会、学校、企業、各種団体の皆様に厚く御礼申し上げます。



社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会

秋葉区社会福祉協議会

新潟市秋葉区新津本町1-2-39

TEL: 0250-24-8376 (代表)

FAX: 0250-23-3322

TEL: 0250-24-8345

(代表者お名前) 電話転送センター

MAIL: akiba@syakyo-niigatacity.or.jp

URL: http://niigataakihaku-syakyo.jp/



秋葉区社協だよりの郵送申込みを受け付けています

より多くの皆さまに情報をお伝えできるよう希望される方には個別に郵送をしています。お近くのぜひのご案内ください。

お申し込み先: 秋葉区社会福祉協議会

TEL0250-24-8376

FAX0250-23-3322



第3回(7月・10月・3月)に発行予定です!

秋葉区社協だよりは、新聞折り込みでお届けするとともに、区役所、コミュニティセンターなどに設置をさせていただいております。

目の不自由な方を対象に、点字版や音声版(デジター・CD版)も発行しています。

秋葉区社会福祉協議会

検索